

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社アイメックス			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 254-0807 神奈川県平塚市代官町11-25				
本票作成	部署名 : 製造部 生産設備課 生産設備係								
主たる業種	分類コード	16	業種名 : 化学工業						
事業の概要	事業所内容 : トナー製造及びトナーカートリッジリサイクル業								
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地				
	①	株式会社アイメックス岡山事業所			岡山県岡山市北区御津高津1630-8				
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)								

計画期間	令和 6 年度			～ 令和 6 年度 (1 箇年度)							
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 1.5 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準								○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)				目標年度 (令和 6 年度)						
	7,001 t CO ₂				6,896 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 5 年度) の排出量						
	①	株式会社アイメックス岡山事業所			7,001 t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						
					t CO ₂						

* 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 基準年度 換算生産量 5928t(生産量6367t) 目標年度 換算生産量 6004t(生産量6458t)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1. 181 t CO ₂ / (t)	1. 166 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

生産性向上による原単位低減やコンプレッサー機器の省エネ化等により温室効果ガスの原単位基準による削減を目指と致します。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ推進組織体制

責任者：事業所長

推進メンバー：製造部長、製造部生産設備課生産設備係、エネルギー管理者

事務職：製造部生産設備課生産設備係

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
株式会社アイメックス岡山事業所	(令和5年度実施分) ・OA機器の節電 ・工場内照明設備の不必要時間での消灯 ・空調温度の設定による空調負荷低減 ・コンプレッサーの漏れエアー削減対策

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
株式会社アイメックス岡山事業所	(今後実施予定分) ・空調温度の設定による空調負荷低減の継続 ・生産性向上による原単位削減 ・省エネタイプ空調設備への更新 ・チラーユニット機器更新時省エネ機器の導入

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無
その他	無

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無
その他	無

【その他特記事項】

・2023年度(令和6年8月26日提出分)基準年度(令和5年)の生産量を換算生産量へ変更します。

生産量6367 (t) →換算生産量5928 (t) 温室効果ガス排出量7001 (tCO₂) より、

原単位当たり排出量の基準年度1.100 →1.181 (t/CO₂) へ変更します。

・目標年度の生産量を8141(t)としておりましたが、6458(t)が正しいです。

1.5%削減を15%削減と誤って算出しておりました。換算生産量は、6004(t)となります。

原単位当たり排出量1.5%削減目標とし、1.166 (t/CO₂) としております。

・換算生産量とは、生産する品種により使用電力量が異なり、今まで原単位にバラツキがありました。このバラツキを無くすためにある品種を基準とし生産量を換算したのが換算生産量です。